



学校だより **きたざき**

No.12 平成29年1月11日

福岡市立北崎小学校

校長 久光 謙治



明けまして おめでとうございます

平成29年が始まりました。今年も良い年になるよう、職員一同頑張っていきますので、よろしくお願いします。

3学期の始業式で、次のようなことを話しました。「Dream comes true」夢をかなえましょう。「一富士、二タカ、三なすび」の初夢の話から、夢を持つことの大切さと夢をかなえていく努力が大切なことを子ども達に話しました。

3学期には、4年生の1/2成人式や6年生の卒業式での誓いの言葉などがあります。将来どんな人になりたいか、どんなことができるようになりたいか、考えていくこともこれから大切になります。これからも、子ども達がみる夢が叶う世の中であって欲しいと思います。

1月の主な行事

- 10日(火) 3学期始業式、いじめ0の日、挨拶運動(13日まで)
- 11日(水) 環境の日、給食開始
- 13日(金) 委員会活動
- 17日(火) 5年生ファームランド収穫祭
- 18日(水) 読み聞かせ
- 19日(木) 3, 4年生西区音楽会(市民会館)
- 20日(金) クラブ活動
- 21日(土) 土曜参観日 ※中学校立志式
- 23~27日 給食週間
- 25日(水) 3年生今宿消防署見学
- 26日(木) 5年生NHK・気象台見学、6年生租税教室
- 27日(金) 4年生太宰府社会科見学
- 30日(月) 5, 6年生ワクワク科学教室
- 31日(火) 3年生食育授業



小中連携コーナー

新学期が始まりました。学期はじめには、必ず中学生の生徒会の会長や各委員の皆さんが小学校の校門に立って、「あいさつ運動」をしてくれます。

中学校の先生方も立ってくれます。もちろん、小学校の児童や先生も立っています。

毎月10日のいじめ0の日には、小学生も中学生もハイタッチをしています。



どうして学力格差が生じるのか

冬休みの間の研修で、お茶の水女子大学の耳塚寛明教授のお話を聞きました。教授は全国学力実態調査と質問紙による生活習慣状況調査の関連を研究し、学力格差が生じる原因追及とその対策についてお話しがありました。教授によると、学力格差は経済的資本や文化的資本、社会関係資本などの家庭的背景や地域性が影響していると結論づけています。経済的資本は塾や習い事につけられる学校教育以外の支出です。文化的資本とは読書の習慣や芸術やスポーツに親しむなど文化的環境を意味します。社会関係資本とは人的ネットワークに生み込まれている情報や信頼、規範意識などを意味します。地域性の影響は、一番に私立中学校の有無にかかっているそうです。そして、保護者調査から分かる学力の規定要因は、次の四つだと話されました。①学校外教育費支出②保護者の学歴期待③家庭の所得④母親の学歴。ちょっと耳が痛くなる思いでしたが、父親は経済で母親は文化的なことに関係性が大きいとのこと。また、親の関わりで言うと、他の保護者や学校に積極的に関わっている家庭では子どもの学力が相対的に高いとのこと。です。

次に学校や教育行政の対策ですが、学力向上にむけて高い成果を上げている学校の特徴についてお話しがありました。高い成果というのは、全国で一番成績が良かったというのではなく、先に述べた家庭的背景や地域性を考慮した同じ学校群の中で好成绩を取めている学校と言うことです。学校の特徴として、次の三つのことをあげられました。①家庭学習指導(特に自学)②管理職のリーダーシップと同僚性の構築、実践的な教員研修③小中連携教育です。また、その中での取り組みに置いては、①言語に関する授業規律学習規律の徹底。例えば、書くこと、話すこと、聞くことを大切に学習やノート指導を徹底することなどです。②学力調査の活用。分析に基づいて課題を明確にし、それを共有し、授業改善に生かす仕組みを作ることが大切です。③基礎基本の定着の重視と、少人数指導の効果。学力低位の児童の底上げが学力向上では特に大切だと言うことです。④放課後や夏期休業期間中の補修。地域でのボランティアなどが成果を上げていることもあるそうです。

これらのお話を聞いて、私達が考えていかなければならないことは、今盛んに叫ばれている「子どもの貧困」は、食の問題だけでなく、文化的享受や親や学校の教育に対する見方・考え方が大きく関係していると言うこと。お任せではやっていけないと言うこと。もっと子どもの学力に対して興味関心を持って、親として学校として何を成すべきか考えること。そして一番大切なことはただ考えるだけでなく何か行動を起こすことではないでしょうか。私達は、子ども達とよく会話し、家庭での様子を耳にします。子どもが書いたノートにコメントを書くようにします。ご家庭でも、学校の様子をお聞き下さい。そして、学校に足を運んで子ども達の学習の様子、学力の実態を見に来て下さい。

【徒然なるままに】

▼知り合いの娘さんが、小倉百人一首かるた競技の新クイーンになったというニュースを聞きました。

▼彼女は高校に入ってから、漫画の『ちはやふる』を見て興味をもってクラブに入ってから力をつけていったそうです。何がきっかけで自分の才能が開花するか分かりません。

▼百人一首は上の句の数字文字で取り札が絞られます。一文字で決まるのは「む」「ほ」「せ」の三文字。二文字で決まるのは「つ」と「ゆ」だそうです。でも、「あさばらけ」で始まる句も二句あり、よく聞かないと間違えます。

▼二期の終わり頃、子ども達が学校で百人一首をよくしていました。うちの学校からもクイーンが生まれるといいなと思っています。